



ヒツジは双子が一般的。誕生後、親子関係は5分程度で確立する。群れの中で産ませると、分娩間近で喧嘩（けんか）の強いメスが他のメスが産んだ子を世話することで、本当の親子関係が乱れる可能性が高いため、産室で個別に産ませる＝2014年3月17日、東北大学農学研究科附属複合フィールドセンター

# 恋が実れば春に出産シーズン



## ハケ岳山麓 ヒツジ編 動物ふれあい日記

### 1 秋は恋の季節

▲ハケ岳連峰を背景に建つ  
 大学の羊舎。3頭のメ  
 スは行み、オスは横にな  
 っている。地面の草が全  
 て枯れてしまい、草をは  
 む時間が無く、手持無沙  
 汰な状態。2月10日、ハ  
 ケ岳中央農業実践大学校



オスが前脚でメスをツンツンとつ  
 づき、交尾を誘う求愛行動の一つ。日長  
 の短さとオスからのフェロモンがメス  
 の交尾の受け入れやすさを高める。2  
 010年9月22日、信州大学農学部（信  
 州大学・竹田謙一准教授提供）

恋の季節になると、ヒツジの雌はシートン動物記に出てくる峰の大將ク  
 ラックのような立派な雄に近寄り、雄の腹などへの頭のこすりつけを始め  
 ます。雄は雌に近づきニオイを嗅ぎ、フレーメン（ヤギ4回目で紹介）で  
 メスの体の状態を確かめた後、後ろに回って声を出しながらおしぎをし、  
 1本の前足でメスのお尻をツンツンつきます。そんなことを繰り返した  
 後、結婚は成立します。結婚後5カ月で子羊が1から2頭生まれます。栄  
 養豊富な草が芽吹き始める春に子羊が生まれるように、恋の季節は、夜の  
 時間が徐々に長くなり、寒さを感じる頃に始まり、最も夜の時間が長い冬  
 至に最高潮に達します。夜の時間の変化を脳の真ん中にある松果体が感  
 じ、ここからメラトニンが分泌され、これが雌の結婚に適した体を作りま  
 す。同時に、雄からのフェロモンもそれに二役かいます。日長変化が結婚に  
 影響するので、赤道や極地付近ではこの変化は少なく、結婚の季節はなくな  
 ります。（ハケ岳中央農業実践大学校畜産部長、佐藤衆介） 随時掲載



佐藤衆介(さとう・しゅうすけ)

1978年に東北大学大学院農学研究科博士課程修了。80年から宮崎大学助手、  
 88年から同大助教授を務める。94年に東北大学助教授に着任。2002年からは農  
 業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所放牧管理部長。05年から東北  
 大学大学院教授を務める。同大名誉教授。15年からは帝京科学大学教授。19年  
 にハケ岳中央農業実践大学校（原村）の畜産部長となり、現在に至る。主な著  
 書は「アニマルウェルフェア」（東京大学出版会、2005）など。

ヒツジの交尾。右のメスは踏ん張り、不動姿勢をとる。  
 オスはメスの腰骨を前足で挟み、交尾する。ヒツジは一  
 夫多妻の婚姻様式のため、睾丸の重さは体重の0.3  
 ～0.4%にもなる。2010年9月22日、信州大学  
 農学部（信州大学・竹田謙一准教授提供）

